

あたたかな よびごえに

(斉唱・二部合唱)

なかがわ あきら 作詞
南 荘 宏 作曲

♩=82

Piano

5

1.あたたかなよびごえにつつまれいきる
2.あたたかなよびごえにょろこびいきる
3.あたたかなよびごえにしんじていきる

Pno.

8

わがいのちさしのべられたてのなかにて
わがいのちやさしくそれつとよりそかつて
わがいのちいだきすてぬとなみだぐみ

Pno.

11

まかせよとねがわれていいまよろ
まかせよといだかれていいまよろ
まかせよとすくわれたいまよろ

Pno.

14

こ (か) な し み も (も)
 こ (か) な し み も (も)
 こ (か) な し み も (も)

Pno.

17

い の ち そ の ま ま お ろ く じ と な
 い の ち そ の ま ま お ろ く じ と な
 い の ち そ の ま ま お ろ く じ と な

Pno.

20

る て を あ わ す
 る て を あ わ す
 る て を あ わ す

Pno.

23

ナ ム ア ミ ダ ブ ツ み ほ と け
 ナ ム ア ミ ダ ブ ツ み ほ と け
 ナ ム ア ミ ダ ブ ツ み ほ と け

Pno.

26 to Coda 1.

に ナ ム ア ミ ダ ブ ツ
 に ナ ム ア ミ ダ ブ ツ
 に ナ ム ア ミ ダ ブ ツ

Pno.

29 2. D.C. Coda

ツ ツ ナ ム ア ミ ダ ブ ツ

Pno.

※この楽譜は二部合唱で作られています。斉唱の場合は上のパートを歌って下さい。

三 あたたかな よびごえに して生きている わがいのち いただきすてぬと なみだぐみ まかせよと すくわれて いまよるこびも かなしみも いのちそのまま お六字となる 手をあわす ナムアマミダブツ みほとけに ナムアマミダブツ	二 あたたかな よびごえに よろこび生きている わがいのち やさしくそつと よりそって まかせよと いだかれて いまよるこびも かなしみも いのちそのまま お六字となる 手をあわす ナムアマミダブツ みほとけに ナムアマミダブツ	一 あたたかな よびごえに つつまれ生きている わがいのち さしのべられた 手のなかに まかせよと ねがわれて いまよるこびも かなしみも いのちそのまま お六字となる 手をあわす ナムアマミダブツ みほとけに ナムアマミダブツ	あたたかな よびごえに ながわ あきら作詞 南荘 宏作曲
---	--	--	------------------------------------

◆制作について

この曲は、令和5年厳修の慶讃法会（宗祖親鸞聖人御誕生850年法要、立教開宗800年法要、聖徳太子1400回忌法要、第33代真覚門主伝灯奉告法要）の讃仰歌として制作いたしました。

◆作詞と作曲について

作詞（なかがわ あきら）：奈良県浄念寺前住職、児童文学作家
 作曲（南荘 宏）：静岡県教覚寺住職、静岡混声合唱団TERRA代表・常任指揮者

◆歌唱について

この曲は、前半の「あたたかな～」のフレーズと後半の「いまよるこびも～」のフレーズで構成されています。この二つのフレーズを繋ぐ「まかせよと～」(弥陀の本願)をどういただき、どう歌うかがポイントとなります。

佛光寺合唱団